

目標未達成理由等の報告書

| 都道府県名 | 市町村名 | 地区名 | 事業実施年度 | 目標年度 | 事業実施主体 |
|-------|------|-------|-------------------|--------|--------|
| 岡山県 | 赤磐市 | 赤磐市全域 | 平成28年度 (H28補正) | 平成30年度 | 赤磐市 |

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

| No. | 対象経営体名 | 成果目標 | 目標未達成となった主な理由等 | 目標達成に向けた改善措置 及び目標達成見込時期等 |
|-----|--------|-------------------------|---|---|
| 1 | 28-1 | 売上高の拡大 | 低温により分けつが不足し収量が大幅に減少した。また収穫前の日照不足により肥大が劣り小米の量が増加した。品質については、高温障害により白濁や割れ等の品質低下が発生し、1等米の比率が下がり売上高が減少した。 | 令和元年度は、適確な栽培管理を行うことによって生理障害を防ぐ計画を立てる。食味分析によるこだわり米の比率を高め、販売高の向上に努める。 |
| | | 経営面積の拡大 (人・農地プラン地区内) | 津崎の圃場整備地域の工事遅滞による借受手続き遅延のため。 | 令和元年度は、農地中間管理機構を活用して利用集積を進める。 |

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

| 成果目標項目 (必須目標) | 未達成理由の総括 | 目標達成に向けた改善措置 及び目標達成見込時期等 |
|------------------|---|---|
| 売上高の拡大 | 異常気象の影響により、収量、品質の低下をまねき、売上高の拡大目標未達成の原因となった。 | 令和元年度は気象変動に影響されない適確な栽培管理を行うことによって安定生産を図る。 |
| 経営面積の拡大 | 各経営体への集積は進んでいるが、圃場整備のスケジュール遅延により、当該プラン地区内での面積拡大が伸びなかった。 | 農地中間管理機構を活用して集積を進める。 |

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

| |
|---|
| <p>1 担い手への農地利用集積について 人・農地プランの推進、中間管理機構の活用により担い手への農地集積を進める。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 中山間地における地区単位等での人・農地プラン策定の推進、認定農業者制度等活用して、必要となる中心経営体の数を増やしていく。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 話し合い可能な地区単位等での人・農地プラン策定を進める。 また、実質化プランへの見直しを進めていく。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 売上高の拡大については、収量・品質向上の面で普及センターと連携し指導を行っていく。経営面積の拡大については、農地中間管理機構を活用して集積を進めていく。</p> |
|---|

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について記入する。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、必須目標となる地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。
- IIIについては、IIで整理した地区の成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他課題と対策等について記入する。